

**Non-Invasive Quick Diagnosis & Safe, Effective Treatment of Intractable Medical Problems Including Cancer, Alzheimer's Disease, Autism & Pain & Cardio Vascular Diseases:**

**New Approach to Anti-Aging & Anti-Cancer**

**Yoshiaki Omura, M.D., Sc.D., F.A.C.A., F.I.C.A.E., F.R.S.M.**

1. President, Japan Bi-Digital O-Ring Test Medical Association
2. Director of Medical Research, Heart Disease Research Foundation
3. Adjunct Prof. Dept. of Community & Preventive Medicine, New York Medical College
4. Prof. Dept. of Non-Orthodox Medicine, Ukrainian National Kiev Medical University  
(TEL: 1(212)781-6262, FAX: 1(212) 923-2279, e-mail: icaet@yahoo.com)

我々は、癌、アルツハイマー病、自閉症、疼痛、心臓・血管病等の難治性の疾患に対して、バイ・デジタルオーリングテストを用いることにより非侵襲的に、安全に、短時間に診断することができ、又、安全で効果的な治療をする事が出来る。癌の細胞や組織では、Integrin  $\alpha_5\beta_1$  と Oncogene C-fos Ab-2 が増え、Acetylcholine (癌で非常に減少する)、Asbestos, Hg, テロメア(TTAGGG)が非常に増え、8-OH-dG (DNA mutation に比例して増える)、Folic Acid (DNA mutation を防ぐ作用があるが癌では非常に減少する)、35 種類の癌の顕微鏡用のスライド等の Reference Control Substances (RCS)を用いて、診断・治療の評価を行う。アルツハイマー病と自閉症の場合は脳内で水に不溶性の $\beta$ -Amyloid(1-42)が正常値の 2 ng (BDORT Units)以下が 7 ng 或いは、それ以上に増えて、Acetylcholine Chloride が非常に低下し、アルミニウム、8-OH-dG、Tau 蛋白、Asbestos, Chlamydia trachomatis, Borrelia burgdorferi, Mycobacterium TB, CMV 等が異常に増えている事が多く、これ等の RCS を用いて、診断・治療の評価を行う。難治性疼痛の場合は、Substance P, Herpes Simplex Virus type 1, Cytomegalovirus, Chlamydia trachomatis, Bradykinin, Asbestos, TXB2 等の RCS をチェックする。

我々は、Anti-Cancer Effect と Anti-Aging Effect を研究しているが、それを測定する一番重要なパラメーターとして正常組織のテロメア (TTAGGG) と Integrin  $\alpha_5\beta_1$  或いは Oncogene C-fos Ab2 と Asbestos を測定している。我々の最近の研究の結果、アスベストは癌、Alzheimer's Disease, Chronic Pain, Cardiovascular Disease (特に血管の狭窄がある時や Failing heart で Asbestos が vascular wall に増えている)、Cataract、その他の慢

性の難治性の病気の重要な原因の1つになっている事がわかってきました。上腕部のテロメアをバイ・デジタルオーリングテスト (BDORT) で調べて、10ng (BDORT Unit) 以下の時は、癌の可能性が高いので、すぐに癌のスクリーニングを行っている。癌組織で増える Integrin  $\alpha_5\beta_1$  或いは Oncogene C-fos Ab2 が正常組織で 10ng 以上あればどこかに癌がある事が多い。この2つの値はほぼ同じ量が癌組織で見つかり、その各々の量が 10ng~40ng (BDORT Units) の時には3種類の Mesothelioma (Epithelioid Mesothelioma, Sarcomatoid Mesothelioma and Mixed Type Mesothelioma)の一つである可能性が一番多く、アスベストも非常に高く 0.15 mg 以上になっている。Integrin  $\alpha_5\beta_1$  或いは Oncogene C-fos Ab-2 が 40~50ng 以上の時には Mesothelioma 以外の癌、その他の腫瘍が多い。正確な癌その他のある場所と形や大きさは 60ng の Integrin  $\alpha_5\beta_1$  を使って Laser Line を体表に Project して、X-Axis と Y-Axis Scanning により癌の中心部を局在し、正確な Outline は直接、体表にマップする。Asbestos が正常の人では 0.001mg (BDORT Units) 以下であるが、0.15mg (BDORT Units) 或はそれ以上のアスベストのある人は、癌その他の Malignant Tumor が存在する可能性が非常に高い。この様なすでに体内にたまったアスベストを簡単に安全に効果的に取り除く、いくつもの方法も、我々の研究の結果わかってきました。更に 1999 年に著者が見つけた人間の声による癌の Bi-Digital O-Ring Test による診断法も最近実用化され、手以外に何も使わないで患者の声から O-Ring Test だけで癌があるかないかの Screening を1分間で出来るようになりました。更に RCS としている癌のスライドを使うと、声から癌の種類がわかり、Cardiac Troponin I を使うと Myocardial damage の診断、又 Bacteria や Virus の RCS を使うと Infection の種類と degree of infection も推定出来るようになりました。癌もしくは、前癌状態の時は、新しい Acupuncture Point, true ST.36 (Omura's ST.36 Point) に Press Needle を入れたままにして 200 回の Press・Release Procedure を1日4回刺激する、あるいは、ミラクル・ドラッグとして普及しているサプリメントの DHEA の最適量を BDORT で調べて、1回だけ投与すると、正常のテロメアの量を 500~530ng に増やして、癌のテロメアの量を 0 近くまで低くして、癌細胞が活動できない状態にする Anti-Cancer Effect と Anti-Aging Effect (抗加齢効果) が半年~1年の長期間持続する理想的な治療ができることは、前回までに述べてきた。しかし Smoking や Morphin とその delivertive や

Non-steroidal Anti-Inflammatory Drug の多くに DHEA の効果を inhibit し、癌を促進させる事が多く、又、DHEA を適量の 2 倍の 25mg 飲んだり、我々の研究の結果わかった平均的適量である 5~12.5mg でも毎日 1 回ずつ飲むと中毒量になり直ちに反対の効果が出て、正常組織の Telomere が  $1\text{yg}(=10^{-24}\text{g})$  以下に減り、癌のテロメアを増やすという欠点があるので、癌の治療に用いる時には、少なくとも一週間か 2 週間毎に効果が Cancel されていない事を Telomere の量を測定する事により、500ng 以下に減少していない事を確認する必要がある。長距離で来れなかったり、動けない患者の Evaluation のため、左右の Mouth Writing, Hand Writing, Foot Writing に重要な目に見えない多くの医学情報が入っているので、患者の書いた Form を FAX してもらって調べる事が出来る。

最近は、更に、効果的に安全にテロメアを増やすことができる治療法を開発し、ABC Treatment と呼んでいる。

リンゴ 1/2 個を食べると、正常のテロメアが  $1\text{yg}(=10^{-24}\text{g})$  以下でも 500ng (BDORT Unit) くらいに増える。しかしリンゴだけだと、効果は約 3 時間で半分以下に下がる。リンゴを食べた後に、さらにバナナ 1/2 本を食べると、テロメアが 525~550ng (BDORT Unit) まで増え、効果は 2 日前後持続する。これに岡山の林原で作ってもらっている Nutritional Supplement で特別に作ったシラントロ錠剤の適量を一緒に飲むと、正常組織のテロメアが 600~625ng に増え、効果が 1 週間近く持続する。更に、癌のテロメアが  $1\text{yg}$  (BDORT Unit) 以下、Integrin  $\alpha 5\beta 1$  も  $1\text{yg}$  (BDORT Unit) 以下に減少して癌のパラメーターがゼロ近くなり、癌が活動できない状態になる。これをリンゴ(Apple)、バナナ(Banana)、シラントロ (Cilantro) の頭文字をとって ABC Treatment と呼んでいる。リンゴやバナナはどれでも、良いというわけではなくて、青いリンゴや青いバナナは正常の Telomere を非常に減少させ、癌の Telomere を増やすので良くない。アメリカ産のリンゴでは Braeburn が 1 番多く、正常のテロメアを上げる。Braeburn が手にはいない時は、2 番目に効果的な Red Delicious でも正常のテロメアを上昇させる。リンゴやバナナを食べられないような病人の場合は、リンゴとバナナを一緒にミキサーでジュースにして飲ませても、同じような効果がある。16 世紀頃からイギリスの Wales

の Pembrokeshire でよく知られていることわざに “1日1個のリンゴで医者いらず” (An apple a day keeps the doctor away)とされており、リンゴの種類によっては、科学的根拠があると考えられる。

また、他の薬剤には必ず適量というものがあって、適量より多くやると、かえってマイナスの治療効果になることが多いので、optimal dose, optimal interval が非常に重要になる。リンゴ 1/2 個とバナナ 1/2 本を1日1回食べても、1日4回食べても治療効果は、あまり変わらないので、食べ過ぎによる中毒効果は少なく、効果的で、安全な治療法と言える。

バイ・デジタルオーリングテストを用いると、血液検査や西洋医学的な検査よりも迅速に、診断・治療ができる。また、有効な薬剤やその組み合わせ、また、その適量をチェックして、治療効果を推測することができる方法なので、その有用性は非常に高い。さらに Selective Drug Uptake Enhancement Method を用いて、病巣に、選択的に治療薬剤を到達させることができるので、副作用が少なく、安全で、効果的に治療ができるというメリットがある。

また、今回、紹介したようなリンゴ、バナナ、シラントロを用いた、効果的で安全に正常組織のテロメアを 600~625ng (BDORT Unit) に上昇させ、その効果を1週間持続させ、癌のテロメアをゼロ近くに減少させることにより、安全で簡単に Anti-Aging と Anti-Cancer 効果を得る事が出来る。ニューヨークで世界的に有名な癌センターで治療を受けている膵臓癌のある医者で Chemotherapy の前後に癌組織の Cancer related parameter である異常に高い Telomere, Integrin  $\alpha_5\beta_1$ , Asbestos, 8-OH-dG, TXB2 をオーリングテストで調べると、Gemcitabin と Cisplatin による Chemotherapy の後、癌が抑制されず Pancreatic Cancer の Cancer Marker として一番感度の良い CA19-9 も治療前より悪くなっている事が多いが、同じ患者に ABC Treatment を行うと 10 分以内に、既に正常組織の Telomere が 1 yg から 525 ng に増え、他の cancer related parameters が正常近くに変化している事がわかり、他の高価で害になっている Chemotherapy よりはるかに安全で優れた効果が得られる事がわかって来た。